大坂物語

9伊5
2761
ハ1

門り5
號
卷

明治四十一年四月三日
藤野漸氏寄贈

藤野潔氏遺贈之印

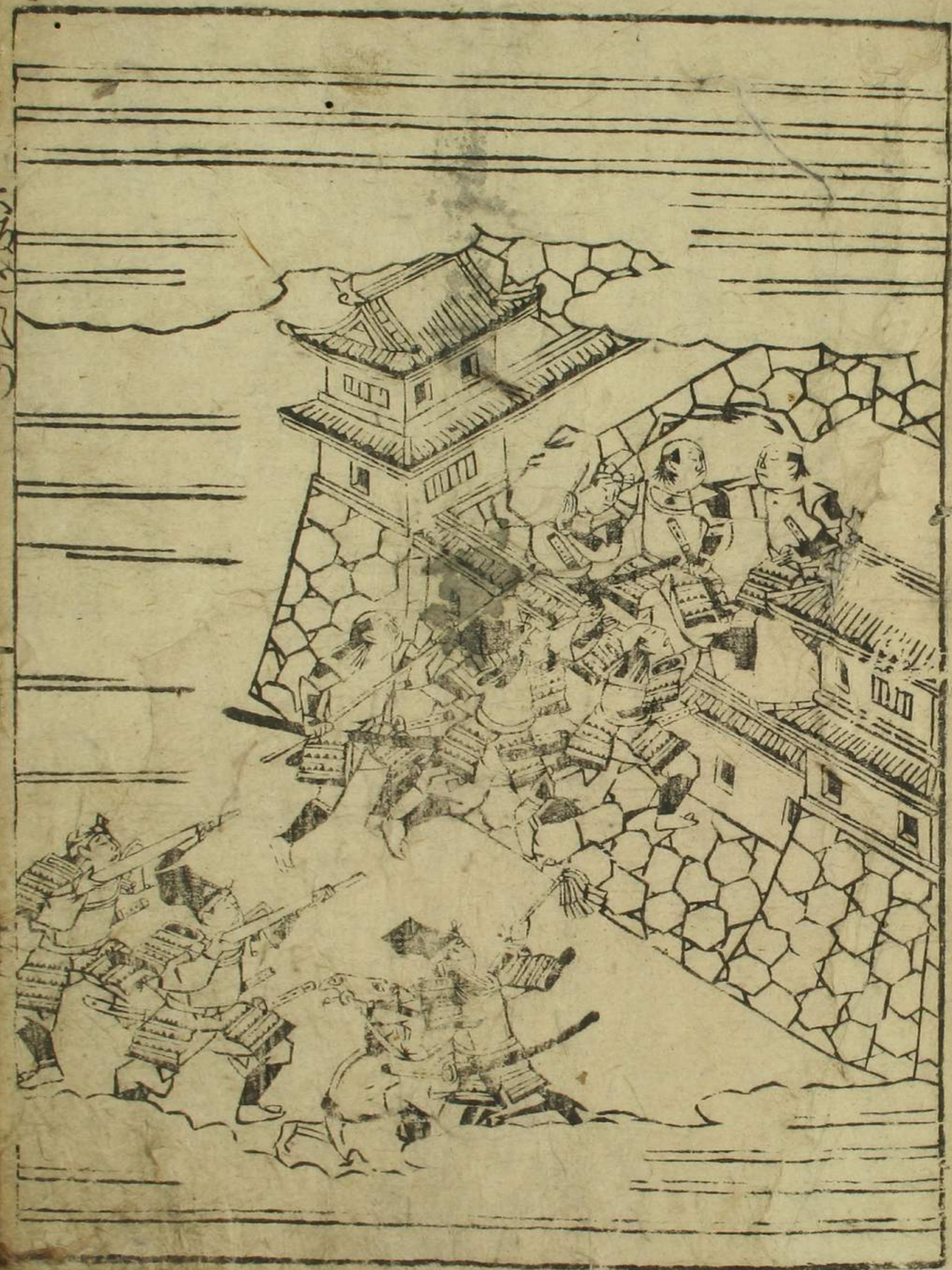
大坂物がたり

まつろぎしあつたきハ胡越も地を。へだてし也況やたゞ
和をもらん秀頼公の。情がゝゝと大守のみぶらい不ハ市兄弟なる
が上ゝ大國をゆゆしくもつぎ。ひろしく思召
大坂城をはたのゝくあつしゝハ東西城ゝ一ゝ市ひとゝ
く深ゝゝく去年一天下の大らんに及しゝとも市ゆうらん
ありて大坂城八正月二日ゝ晨ゝを市たちあつて後府（市下
なるゝ也大守ひて忠公八同廿九日ゝ晨潮を立武州江戸（市藏
あゝゝかゞ市玉ゝ市玉ゝ海西海の大船小船昔ゞぜいとうたゝて
我国ゝ海ゝ京坂の者共也。かゝゝをける賊家共ゝ三九
通して業の舎酒をんゝ。ゝて無異をとゝを市城ゝゝ
大坂ゝゝ大ゝゝゝの情ゞ。二位のつゝひいなゞゝじゝ
青木ゝんぶのせゝを市使として後府江戸（つゝゝ見八古年
大らん大水津の玉。河内の百性大ゝゝたいさんして無國ゝ

あて行るべき縁有処に是非なく何付らるべきやうとの使者と来
聞しきつひでぞ以て安倍殿の清やうに八既に去年ことごとくの義お定
還去の在るへ八諸らう人を清やち もとま是をんびんのさたに及べき
ものにせらるべきに不に先くらう人とも。ふちき孫よしきこし否にも何ぞ次に
去年祖国の時も仰出されし如大坂を預けまたるこそ大相国を
余べき人秀頼公にして事分別たらずとも大らうらう在待す
ひでよりをも見立んと思顔にて。逆心を起ば天下の大乱止まるまし然ば
大坂ハ小敵の任かといふうちなく思召して浪ぢやうとぞ聞し然れ秀頼を
浪人たちを清合兵共ニハ。らう人たちを死すべき命を一人残し殺して切まん
より思まじの太刀付して名を後代に残さんと思切たるすゞまじ。譬ハ其
大の志有り物として七ゝの者すまじ状柄に見えたる気高なとハ今世に
安倍殿をもかゝむけ申さんすハ、蜻らうが斧を蟷く立車に向ちちうがあくま
を取にたり武勇といひ知勇といひ天笠震旦ハ知ず日本秋津島の国
安倍殿かくを兼べきやみとつぶやきけれバ諸らう人ハ秀頼公の末と悲
乃既に合戦及ける大坂が京都大勢の向ら是ニ落行ら処にて焼拂ける

とひかさき類う是あれ京中乃者共去年秋く金銀の銭貧とみすく沈
こひくきとる共いとさ面きハ路者のやけるてらんぺるひ京中へ出う何大棒子中
まち何かしとて陶妻浪乃浪家女浪家乃浪家乃帝にもす純をわまさ沈
京中の者共らの為をよんで妻子たちをそこに自在に財田とらうさに
龍卿よみて板倉伊賀守殿へ持より命すき様にて京乃者共今ぞ
然ねむくひくうされたれまふらんあかに公事乱てく御積まし京中に
板倉伊賀の者則て是れく皆ひ大坂よりうせふらた一々せ沈まめ事まらん
細を秘大帝勅とも図らの御わ松本平孫すなかならの中ち伊井かもんの頭
患さ海ちらの後に浪孫見て帝都をたすけじとつさよし仰出さる事
源家康公に同じ後前をいろこそて同十八日に都落に伴ひ今も
秀忠公同十日に江戸を立同六百ま程見よりまつき御和にて京中れ
者共お今ても今に御りまつさと大内寄あんと其にらくれ扶大和
な国よ何々て後ハ十日にうる者ちち十日ニ各やねんまでち
よろのと孫のうつまさも参りありのと沈らもも浪さわいまその平を
又川おもの道の浪るよう何ねおれおも扨ニらねうおあれ大御所将軍
前後よさおひてすそ人く浪をおうら九さいしつゝ後将の中将の軍

[illegible]



いくさやめられさせんと見えてありしかばちからなくさうけ八代の八幡のかたへ平野ちかく
ありしかに武者ともゝてさいそくありて城中にての籠城の者へ〆村
ものゝしかも大将ゐの馬下より死し力なくさいそうし大田なる所ゟ
あつくさらたと申けるを聞てさうさうに大将のまれゟ見られたるあし
かのおまへるに是まへてまた敵からのいてすりくるのとらびにまゐりつゝ
さらにより〆て結わり候わけれはしく七日の手籠て大坂勢十八丁の所を先さ
さやふてみ返京の持ちかんへ二陣の所で加ふ字東勢二千万と諸大将を
あく二手ひ城にゐのおゝ侍にかゝるとはれしとせしへ来たくもとよりて大坂勢
ぬみより死ぬものてさうて其方なりの大月よりの内へ八行御たると見えて
かうへく二所とあれへかうとおひ切るとくしと家康勢と一手へのおろす
かり左の宗の汲ちろとかゝりてからなる所を木曽山の次男と申して家康方
お補親子安藤帯刀の親子下大寺の与平の者共と共にとかくして
ぶんに死わるさいと討死と太田のさふくさらへ死者のいて討ちされる所を
大かかゝるれて未すて介かまれゝかけ分ごさり城かへ大将を者へ送り参でし合ふれ
をえるのを大坂勢にてかへ行てもさるものゝあらたふかのちなるにて参へ
御かそて加わかせしいぬ〆てもいさかりし衆のなかの城の御方へ

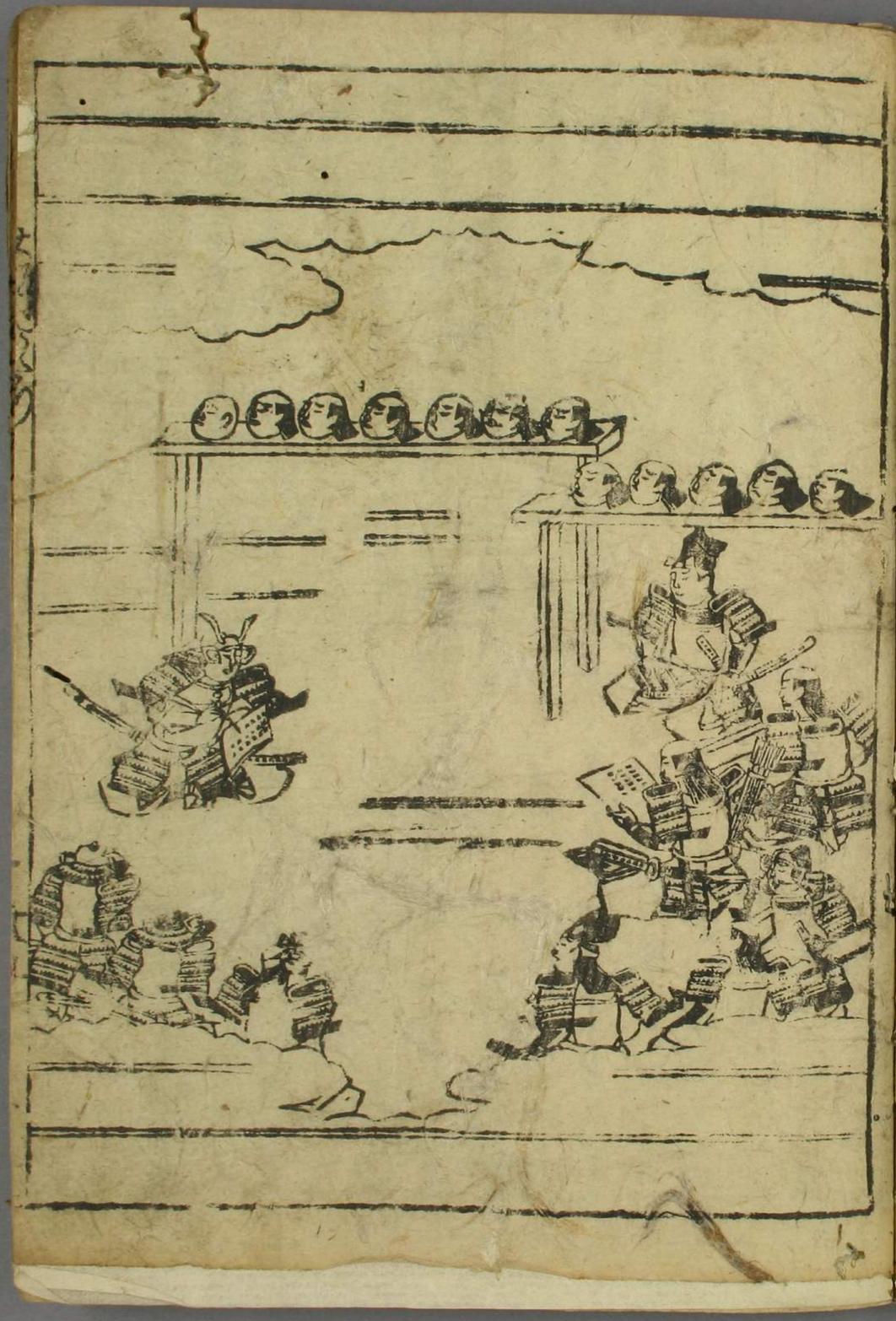
ちかく武んらの大将より出て大いにかちかゝりてもさうくさうゆ
さいとも丸宮場に討人ひさいてけられまかつてもいて九へさる大越前のかへのさら
大く兵大八の守ゟこ平丸の家の城の城はかりへ討る所の馬手の方へ
あさらの所の城勢とつかへしれかれへるとかへり見てもよしと入て御大将
さしたかゝへかれへ城勢とゝて見てかく本田の気の家のかなへ六と
いくもかつかとあさらしうさへ寺江に上ゝ本田の先をの事にてかの
松平筑前守をて大手先の付旗ちのつかれてさへ参るかつりて入へかゝらん
とらうと此の所ゟ城方へも入かくもさを候へ向て入くさく出て加わ家の方へ
まと敗ててもうけもてもこて付ゝて其方ら入へかるもかへもの所
まえろにけろうとまさへ大将の馬の方の家の侍く後入〆ろの三の城
もさまいらへ事もの加勢と大手のまつりの城を加へて入の家とを見へ申
のそふの加勢る所へ者共と大坂勢とおもかへぬりくさりちう城の大将
ちをよりの役を人のちに書をかうもちの事とさいられ下さらと申すく
今の城の者ともの大将の下との勢公に兵さめへ所ゟも付をされへり
日本の丸もて家康勢もなかに大坂の方へ先を家の平事さうゝ方の事に
さうさうてたゞあらやされは城へ加勢とうかへうかつけともかへうて家のへ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

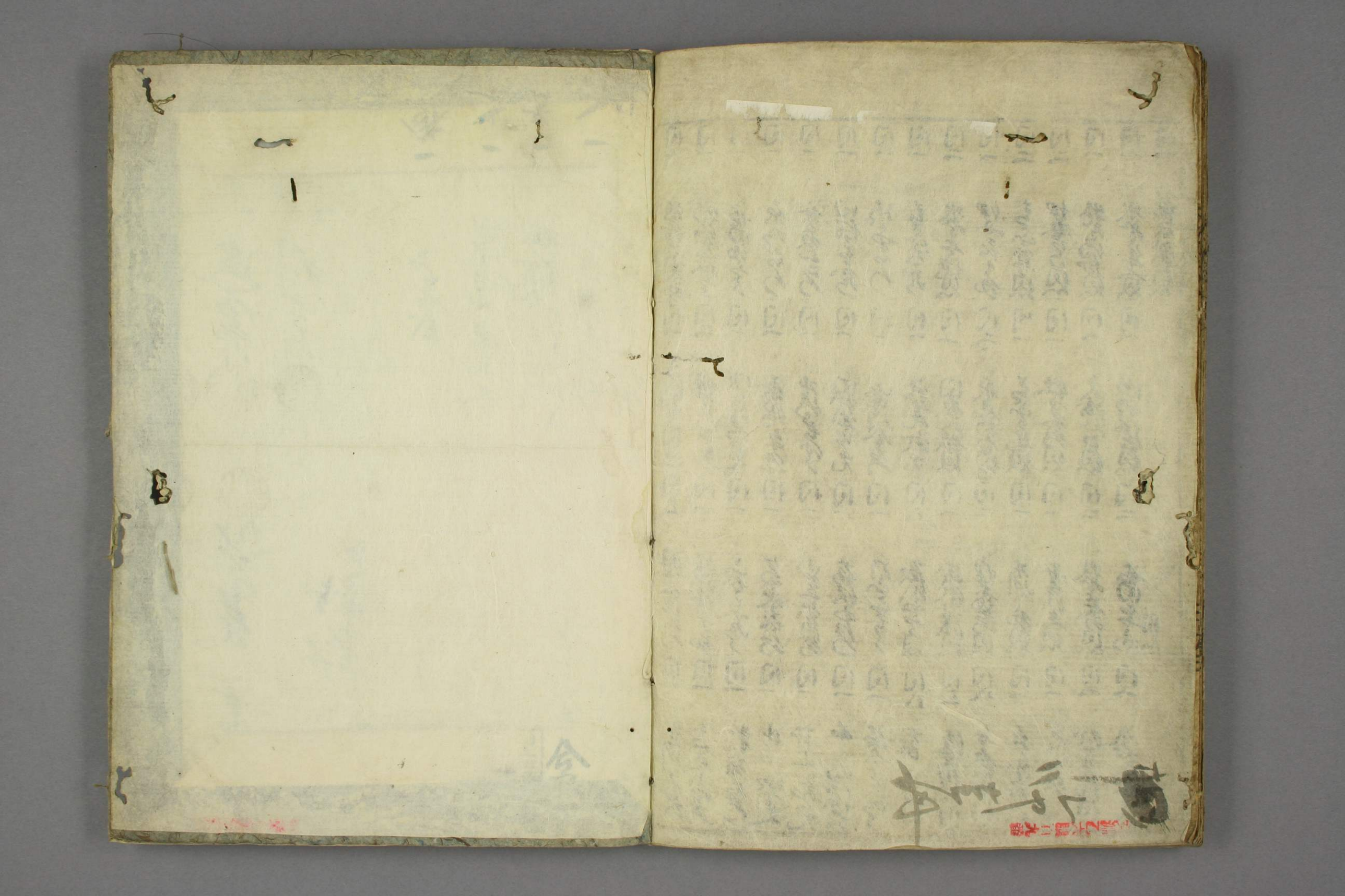
[illegible]

預帳

[illegible]

同[illegible] 酒井飛驒守　同三十 青山[illegible]　同三十 石川[illegible]　同三十 池田[illegible]
同[illegible] [illegible]　同廿七 [illegible]　同廿七 [illegible]　同廿七 [illegible]
同十三 戸田[illegible]　同十九 [illegible]　同十九 [illegible]　同二十 秋山[illegible]
同十五 小濱民部　同十九 [illegible]　同二十 [illegible]　同十七 [illegible]
同十六 遠藤[illegible]　同十三 [illegible]　同十四 [illegible]　同廿一 [illegible]
同七 松平石見　同十四 [illegible]　同十四 [illegible]　同十五 松平[illegible]
同七 松平[illegible]　同十二 [illegible]　同十二 松平[illegible]　同二十 [illegible]
同十五 [illegible]　同十二 [illegible]　同十二 [illegible]　同十 [illegible]
同九 [illegible]　同十 [illegible]　同七 [illegible]　同七 [illegible]
同六 [illegible]　同六 [illegible]　同八 [illegible]　同七 [illegible]
同八 [illegible]　同六 [illegible]　同八 [illegible]　同三 [illegible]
同[illegible] [illegible]　同三 [illegible]　同八 [illegible]　同三 [illegible]
同二 [illegible]　同二 [illegible]　同二 [illegible]　同三 [illegible]
同五 [illegible]　同二 [illegible]　同八 [illegible]　同三 [illegible]
同[illegible] [illegible]　同 [illegible]　同三 [illegible]　同三 [illegible]

同一 水野[illegible]　同二 [illegible]　同二 [illegible]　同二 [illegible]
同二 [illegible]　同二 [illegible]　同一 松平[illegible]　同二 [illegible]
同二 松平[illegible]　同一 松平[illegible]　同二 小山[illegible]　同二 [illegible]
同一 [illegible]　同一 [illegible]　同一 永井[illegible]　同一 [illegible]
同一 三枝源八　同一 [illegible]　同二 永井[illegible]　同一 [illegible]
同一 安藤[illegible]　同二 松平[illegible]　同一 松平[illegible]　同二 [illegible]
同二 [illegible]　同一 永井[illegible]　同一 三枝[illegible]　同一 本間[illegible]
同二 [illegible]　同一 [illegible]　同二 [illegible]　同一 [illegible]
同二 [illegible]　同二 [illegible]　同一 小濱[illegible]　同一 [illegible]
同一 戸田[illegible]　同一 [illegible]　同二 [illegible]　同一 [illegible]
同二 [illegible]　同一 [illegible]　同一 [illegible]　同一 [illegible]
同一 [illegible]　同一 [illegible]　同一 [illegible]　同一 [illegible]
同一 [illegible]　同一 [illegible]　同一 松[illegible]　同一 [illegible]
同二 中[illegible]　同一 [illegible]　同二 [illegible]　同一 [illegible]
同一 [illegible]　同一 [illegible]　同一 [illegible]　同一 [illegible]

同一　合村給高　同一　如数伊織　同一　如数之内　同一　鞍谷郡
同一　作稲作物　同一　作稲作物　同一　本遠之分　同一　地之内
同一　戸田之内　同一　寺数之内　同一　野尾之内　同一　寺数之内
同二　合村給高　同一　戸田之内　同一　寺数之内　同一　清田村
同一　寺数之内　同一　寺数之内　同一　弁地二つ之　同一　清田村
同一　新田之内　同一　寺数之内　同一　寺数之内　同一　清田村
同一　年貢合之　同二　酒井忠勝　同一　作稲之内　同一　清田村
同一　山之内二つ　同一　如数作之　同一　寺数之内　同一　寺数之内
同一　寺数之内　同二　新田寺之　同一　中村作之　同一　中村作之
同二　清水孫之　同一　如数八之　同一　神田之内　同一　中村作之
同一　寺田数之　同一　戸田数之　同一　清水孫之　同一　中村作之
同一　大猪之内　同一　大猪之内　同一　小川之内　同一　小川之内
同一　寺合数之　同一　寺合数之　同一　寺数之内　同一　寺数之内
同一　新田之内　同一　中川新田　同一　新田之内　同一　新田之内
同一　山之内之　同一　大井清水　同一　作稲之内　同一　作稲之内

同一　作稲不足　同一　清水村内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同一　新田寺数　同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同一　種田之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同一　寺数之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同一　寺数之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同一　寺数之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同一　村之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同一　寺之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同一　水谷之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同一　伊藤新八　同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同二　寺之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同一　伊藤新八　同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同一　寺之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同二　水谷之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同一　水谷年貢　同一　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内
同一　作稲之内　同二　作稲之内　同一　作稲之内　同一　作稲之内